

2022年度 第7回創発セミナー

第9回酵母コンソーシアム

細胞が産生する有用物質～基礎と応用の視点から

大隅基礎科学創成財団では、基礎科学への研究支援とともに、研究者と社会との連携を通して文化としての基礎科学を確立することを目指しています。モデル生物として分子細胞生物学の研究対象とされてきた酵母は、人類が有史以来、発酵や醸造などで利用してきた微生物でもあります。当財団の「酵母コンソーシアム」では、酵母を用いる生産現場と研究者との情報共有と交流による新たな連携の構築を目指しています。

第9回目となる今回の酵母コンソーシアムでは、微生物による物質生産に関する、アカデミアおよび企業の異なる視点からの話題を提供します。理化学研究所の八代田陽子氏（当財団フェロー）には、酵母が産生する脂肪酸の新規機能について、また、キッコーマン株式会社の五味恵子氏には、麹菌をはじめとした微生物を用いた物質生産に関してご講演いただきます。さらに、京都大学の阪井康能氏（当財団理事）から、アカデミアと企業のさらなる連携構築を目指した本コンソーシアムの今後の取り組みをご紹介します。

会場の東京大学駒場キャンパスは、大隅理事長が学生時代を過ごし、研究室主宰者として独立した後、オートファジー研究を始めた場所です。3年ぶりの対面形式で開催される本セミナーに、是非ご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

【日時】2023年5月16日(火) 16:00～20:00 (受付 15:45～16:00)

【内容】

- 16:00 - 16:05 理事長挨拶 大隅 良典 (財団理事長)
- 16:05 - 16:10 はじめに 松浦 彰氏 (千葉大学大学院理学研究院教授)
- 16:10 - 16:55 講演と Q&A 八代田 陽子 氏 (財団フェロー、理化学研究所 副チームリーダー)
「思いがけず見出された脂肪酸の機能～分裂酵母の細胞間コミュニケーション～」
- 16:55 - 17:40 講演と Q&A 五味 恵子 氏 (キッコーマンバイオケミファ株式会社 企画部長)
「ひそかに活躍する微生物が作る酵素・有用物質」
- 17:40 - 18:00 講演と Q&A 阪井 康能 氏 (財団理事、京都大学大学院農学研究科教授)
「基礎研究の発展と若手人材の育成を目指したアカデミア-企業間連携」
- 18:00 - 18:10 休憩
- 18:10 - 20:00 フリーディスカッション / 交流会

【場所】

東京大学駒場Iキャンパス 21KOMCEE 西棟 B1 レクチャーホール (セミナー)/MM ホール(交流会)
〒153-0041 東京都目黒区駒場 3-8-1 TEL: 03-5454-6014(代表)
京王井の頭線 駒場東大前駅下車 東口より徒歩4分
>アクセス https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/campus-guide/map02_02.html
>キャンパス内マップ https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_55_j.html

【参加費】当日お釣りのないよう現金でお支払いください。
セミナー 3,000 円(*会員企業様にはご招待枠がございます)
交流会 お一人様 3,000 円

【申込：事前登録制】事前登録制(4/28まで。定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。)
以下の URL より必要事項をご記入の上、お早めにお申込みください。
<https://forms.gle/b6xHaP735cqxnkAj6>

【お問い合わせ先】

公益財団法人 大隅基礎科学創成財団 竹島・二宮・大竹
TEL: 045-459-6975, FAX: 045-459-6976, E-mail: event@ofsf.or.jp